

自衛官候補生入隊と防衛・駐屯地モニターの委嘱

平成最後であり令和元年となる年度が始まりました。駐屯地も桜満開の中での年度が始まりました。

その年度当初の週末には、自衛官候補生の入隊式とモニターの解嘱・委嘱を行いました。

1 自衛官候補生入隊式

4月7日(日)、大村駐屯地において第16普通科連隊自衛官候補生入隊式を行いました。本年度の当連隊教育隊への入隊者は、41名です。

自衛隊に任期制隊員として入隊した隊員は、まず自衛官候補生として教育部隊で自衛官としての基礎的な教育を受けることとなります。陸上自衛隊は、大勢の隊員を採用することから教育専門部隊だけでは本教育を受け入れることが出来ません。そのため普通科連隊の部隊を主体に臨時の教育隊を編成し、自衛官候補生の教育を行います。第16普通科連隊も副連隊長を教育隊長とする臨時の教育隊を編成して教育を行います。

自衛官候補生は、これから3ヶ月間の教育を受けて初めて「2等陸士」という階級を付与され、配属される職種(※)と部隊に分けられ、さらに専門的な教育を3ヶ月間受けて部隊に配置されることとなります。

駐屯地の桜も、先週から咲き始め今週末まで満開で出迎えてくれました。

入隊したての隊員は初々しく、これからの成長が楽しみです。

※ 普通科(昔で言う歩兵)、機甲科(戦車の部隊)、需品科(食事等を担当する部隊)、通信科(無線や電話、ネットワークシステム等担当する部隊)、輸送科等、15の職種があります。



2 防衛・駐屯地モニターの解嘱・委嘱

自衛官候補生入隊式と同じ日に、防衛モニターと駐屯地モニターの解嘱と委嘱式を行いました。

防衛モニターは2年間、駐屯地モニターは1年間の任期で、駐屯地が行う各種行事への参加や訓練等の研修を通じ、自衛隊に対する理解を深め広く広報して頂くとともに、部隊に対するご意見を賜るものです。

当駐屯地では、昨年度も偵察活動の体験や各種行事への参加を頂きました。本年度のモニ

ターの方々にも逐次計画しご案内する予定です。

昨年度のモニター様から貴重な意見を頂いた中に、「記念行事の際、一般開放され誰でも入れることが知られていない。施設の中に入るだけでもプレミアム感があるのに。。。」等の貴重なご意見を頂きました。

早速、4月27日（土）に駐屯地記念行事があります。解放の時間内は、どなたでも入門できます。手続きもありません。どうぞお越し下さい。

また、駐屯地では、一般の方に史料館の見学も受け付けております。

史料館には、大村藩や旧陸軍からの歴史資料を保管・展示しています。事前に駐屯地広報室にお電話頂ければ、見学することも出来ます。（入門の手続きが必要になるため。）どうぞご利用ください。



第16普通科連隊長兼大村駐屯地司令

1等陸佐 南野 延寿